

乳腺外科：平成 30 年度 学会発表（共同演者、講演も含む）

1. Global Breast Cancer Conference 2018, Apr 5-7, Incheon, South Korea

Y Okumura, T Osako, Y Nishiyama, M Nakano, M Fujisue, N Arima, Y Toyozumi, R
Nishimura,

Analysis of Prognostic Factors for Disease-free and Post-recurrence Survival in
Triple Negative Breast Cancer

2. Global Breast Cancer Conference 2018, Apr 5-7, Incheon, South Korea

R Nishimura, T Osako, Y Nishiyama, M Nakano, Y Okumura, M Fujisue, N Arima

The Efficacy of Everolimus in ER-Positive and HER2-Negative Advanced /
Recurrent Breast Cancer.

3. リビング医療セミナー 乳がん市民公開講座 5/13 熊本市 奥村恭博

検診で見つかる乳がんは本当に早期なの？

4. 第 26 回 日本乳癌学会学術総会 5 月 16 - 18 日 京都

森 瞳美、久保 真、山口 倫、西村 令喜、有馬 信之、大城戸 政、倉田

加奈子、山田 舞、甲斐 昌也、小田 義直、中村 雅史

Triple negative 乳癌の腫瘍免疫における BRCAness の意義

5. 第 26 回 日本乳癌学会学術総会 5 月 16 - 18 日 京都

淡河 恵津世、有村 健、荻野 尚、菱川 良夫、唐 宇飛、岩熊 伸高、磯

本 一郎、久保 真、西村 令喜、光山 昌珠

早期乳癌に対する陽子線治療による乳房部分照射（第Ⅰ/Ⅱ相試験）

6. 第26回 日本乳癌学会学術総会 5月16-18日 京都

加藤 弘明、枝園 忠彦、下村 昭彦、上村 夕香理、北田 正博、木川 雄

一郎、西村 令喜、遠山 竜也、相原 智彦、向井 博文

ホルモン療法感受性を示す閉経後 ER 陽性転移乳癌にエベロリム ス追加効果を

検討するランダム化第Ⅱ相臨床試験

7. 第26回 日本乳癌学会学術総会 5月16-18日 京都

奥村 恭博、大佐古 智文、西山 康之、藤末 真実子、豊住 康夫、有馬 信

之、西村 令喜

トリプルネガティブ原発性乳癌の検討

8. 第26回 日本乳癌学会学術総会 5月16-18日 京都

山田 充宏、須古 杏子、森岡 淳子、大佐古 智文、西山 康之、奥村 恭

博、藤末 真実子、西村 令喜

乳癌周術期化学療法における発熱性好中球減少症の割合

9. 第26回 日本乳癌学会学術総会 5月16-18日 京都

佐伯 幸子、今福 曜子、藤末 真実子、奥村 恭博、西山康之、大佐古智文、

西村 令喜

乳癌術後リンパ浮腫・上肢機能障害予防に対するリハビリテーションの取り組みと課題

みと課題

10. 第26回 日本乳癌学会学術総会 5月16-18日 京都

西本 初江、富永 久美、城 夏子、富田 ゆかり、藤末 真実子、奥村 恭博、西山 康之、大佐古 智文、西村 令喜

乳癌手術を施行した患者の身体状況と臨床病理学的因子との関連について

11. 第26回 日本乳癌学会学術総会 5月16-18日 京都

今福 曜子、藤末 真実子、奥村 恭博、西山 康之、大佐古智文、西村令喜

乳がん患者における術式選択時の心理的側面の解析 ～年代別での比較～

12. 第26回 日本乳癌学会学術総会 5月16-18日 京都

工藤 愛美、白石 のぞみ、岩下 幸恵、三川 真貴、村上 優子、坂上 美香、八木 珠美、杉松 睦美、野中 佳美、岩橋 奈穂美

「乳がん化学療法 IV ナース」認定制度への取り組み

13. リビング医療セミナー 乳がん市民公開講座 5/13 奥村恭博

検診で見つかる乳がんは本当に早期なの？

14. 転移・再発乳がんので治療中の方やそのご家族のための市民公開講座

5/27 西村令喜

—診察室でのより良いコミュニケーションを目指して—

しっかり受けいれ、ともに歩む

15. 第24回日本家族性腫瘍学会 6月8-9日 神戸市 福島洋子、大佐古智文、西

村令喜、永井隆司、西山康之

「遺伝学的検査を受けたクライアントへの結果開示と看護師の役割」

16. 乳がんチーム医療研究会 8/3 熊本 須古杏子

「チームで取り組む“育薬”～抗がん剤の副作用管理～

17. 乳がんチーム医療研究会 8/3 熊本 米満 美和

「“私のカルテ”運用の実際」

18. 熊本県がん診療連携協議会幹事会、第37回相談支援・情報連携部会 9/11 熊本

西村令喜

「くまもと森都総合病院における「私のカルテ」運用の実際」

19. 第56回日本癌治療学会 10月18日～20日、横浜 須古 杏子、西村令喜

当院におけるパルボシクリブの使用状況

20. 第56回日本癌治療学会 10月18日～20日、横浜 奥村恭博、西村令喜、宮国

孝男、古賀健一郎、川添輝、松方絢美、田中将也、上尾裕昭、古賀稔啓、田中真紀

(山口美樹)、光山昌珠、田村和夫

原発性乳癌に対する術後補助化学療法としての nab-paclitaxel followed by FEC

の多施設共同試験 (KBCSG1401)

21. Lilly 社内講演会 10/29 熊本市 西村令喜

乳癌ホルモン療法の実際

22. Novartis Breast Cancer Meeting 11/7 那覇市 西村令喜

Lumini タイプ再発乳癌に対する分子標的薬の位置づけ—臨床の立場から—

23. 第126回日本保険薬局協会 九州・沖縄ブロック 熊本エリア研修会 11/26

熊本市 西村令喜

進行・再発乳がんの治療—最新の話から—

24. San Antonio Breast Cancer Symposium 2018, 12/4-8, San Antonio, USA

Nobuyuki Arima, Reiki Nishimura,

Clinical Significance of Androgen Receptor Expression in Breast Cancer

25. San Antonio Breast Cancer Symposium 2018, 12/4-8, San Antonio, USA

Youngjin Park, Hiromitsu Akabane, Takanori Watanabe, Masato Takahashi, Yoshiaki

Sagara, Reiki Nishimura, Junji Tsurutani, Tsutomu Takashima, Tomomi Fujisawa,

Yasuo Hozumi, Yukari Uemura, Hirofumi Mukai ,

Randomized phase 3 study of anthracycline-containing regimens versus S-1 as first-line treatment for metastatic breast cancer (SELECT BC-CONFIRM)—A combined analysis of two randomized phase 3 studies (SELECT BC-CONFIRM and SELECT BC)—

26. San Antonio Breast Cancer Symposium 2018, 12/4-8, San Antonio, USA

Kazuhiro Araki, Tomomi Fujisawa, Kentaro Sakamaki, Yuichiro Kikawa, Takayuki Iwamoto, Takafumi Sangai, Tadahiko Shien, Shintaro Takao, Reiki Nishimura, Masato Takahashi, Tomohiko Aihara, Hirofumi Mukai, Naruto Taira.

Sequential second line endocrine therapy is still an effective strategy for postmenopausal ER+ and HER2- advanced breast cancer with low sensitivity to initial endocrine therapy

27. 第 5 回 Breast Cancer Board in 熊本 1 月 9 日 熊本 中野正啓、西村令喜 他

当院における PARP 阻害剤を使用した再発乳がん症例の検討

28. 乳がんチーム医療懇話会 2 月 1 日 熊本 安丸 愛

乳がんの画像診断～病理診断に於けるチーム医療 画像診断の立場から

29. 乳がんチーム医療懇話会 2 月 1 日 熊本 遠山 亮佐

乳がんの画像診断～病理診断に於けるチーム医療 病理診断の立場から

30. Halaven Expert Meeting in 熊本 2/14 中野 正啓

多種類の抗がん剤前治療歴のある HER2 陽性再発乳がんに対してエリブリンと分子標的薬を併用投与した 1 例

31. 第 16 回日本乳癌学会九州地方会 沖縄 3/2-3

中野正啓, 西村令喜, 大佐古智文, 奥村恭博, 藤末真実子, 有馬信之

オラパリブ（リムパーザ）を投与して奏効した再発乳がんの1例

32. 第16回日本乳癌学会九州地方会 沖縄 3/2-3

奥村恭博, 大佐古智文, 中野正啓, 藤末真実子, 有馬信之, 西村令喜

ホルモン療法による深部静脈血栓症を合併した転移性乳がんの1例

33. 第16回日本乳癌学会九州地方会 沖縄 3/2-3 西村令喜

イブニングセミナー講演 “CDK4/6 阻害剤への期待と問題点 そして今後に向けて”

34. 第4回くまもと乳腺診断セミナー 3/9 有馬信之

乳癌診断における画像および病理所見の対比

35. St.Gallen International Breast Cancer Conference. Primary Therapy of Early Breast Cancer Evidence, Controversies, Consensus. 3/20-23 2019, Vienna /Austria
Yasuhiro Okumura, Tomofumi Osako, Masahiro Nakano, Mamiko Fujisue, Nobuyuki Arima, and Reiki Nishimura.

Investigation of the clinicopathological and prognostic risk factors for the recurrence of breast cancer in elderly patients over 75 years of age

36. 平成30年度 第8回長崎県病院薬剤師会学術講演会 3/28 西村令喜

再発・進行乳がんにおけるチーム医療 ～アベマシクリブの臨床的意義について～

平成 30 年度 学術論文 (共同著者も含む)

1. Masuda N, Nishimura R, Takahashi M, Inoue K, Ohno S, Iwata H, Mori Y, Hashigaki S, Muramatsu Y, Nagasawa T, Umeyama Y, Toi M. Palbociclib in combination with letrozole as first-line treatment for advanced breast cancer: a Japanese phase II study. *Cancer Sci.* 2018 Mar;109(3):803-813.
2. 西山康之、西村令喜、大佐古智文、中野正啓、永井隆司、有馬信之
遺伝学的検査結果開示に関し意志決定が困難であった BRCA2 変異陽性乳癌の 1 例
日本臨床外科学会雑誌 第 79(9): 1820-1824, 2018.
3. Nobuyuki Arima, Reiki Nishimura, Tomofumi Osako, Yasuhiro Okumura, Masahiro Nakano, Mamiko Fujisue, Yasuyuki Nishiyama, Yasuo Toyozumi.
Ki-67 index value and progesterone receptor status can predict prognosis and suitable treatment in node-negative breast cancer patients with estrogen receptor-positive and HER2-negative tumors.
Oncol letters, October 29, 2018. <https://doi.org/10.3892/ol.2018.9633>.
4. Mukai H, Shimizu C, Masuda N, Ohtani S, Ohno S, Takahashi M, Yamamoto Y, Nishimura R, Sato N, Ohsumi S, Iwata H, Mori Y, Hashigaki S, Muramatsu Y, Nagasawa T, Umeyama Y, Lu DR, Toi M.
Palbociclib in combination with letrozole in patients with estrogen receptor-positive, human epidermal growth factor receptor 2-negative advanced breast cancer: PALOMA-2 subgroup analysis of Japanese patients.
Int J Clin Oncol. 2018 Dec 4. doi: 10.1007/s10147-018-1353-9.